

# News

## ウェルネス



### No.116

ウェルネス小畑歯科医院  
子どもの歯を守る会  
会報 1998年2月創刊

〒640-8401  
和歌山市福島324-1  
TEL 073-455-9874  
FAX 073-455-9884

## 小畑歯科におけるスペシャルニーズへの対応 ～障害のある子どものお口の健康のために～

### 1. はじめに

小畑歯科医院では、開業以来30年間にわたり、スペシャルニーズのある子どもたちの治療や予防(=障害者歯科)に正面から取り組んできました。来院者の皆さんの中にも、待合室や診療室でパニックを起こし、泣いたりわめいたりしているお子さんに遭遇したことのある方もいると思います。予約時間ぴったりに呼んでほしいのに、10分ほど呼ぶのが遅れてしまい、待合室でパニックをおこしたA君、「今日はがんばる！」と機嫌よく診療室に入ってきたかと思えば『部屋がいつもと違う』と大パニックをおこしたB君…。A君やB君のように、指示や指導の内容が理解しにくかったり、恐怖や不安が強く、コミュニケーションを取るのが難しい人のことを現在では**スペシャルニーズのある人**として捉えています。歯科治療を受けたくても部屋に入れない、チェアに寝ない、パニック行動を起こすなどの人に対して、どうやって楽に歯科治療を受けてもらうか考えていくのが障害者歯科の役割です。スペシャルニーズのある人たちにも健常人々と同じ水準の治療を、また、その治療をして**その子が幸せであるように**持っていくにはどうすればよいでしょうか。そのためには診療室の中でだけその子を見ていくのではなく、生活する家庭や地域全体を



みていくことがとても大切です。今回は、スペシャルニーズのある人の中でも特に自閉スペクトラム症(ASD)の方々が歯科診療を受ける際、どのようなアプローチが有効なのか、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

### 2. 自閉スペクトラム症(ASD)の特徴

自閉スペクトラム症(ASD)の人は、想像思考に違いが見られ、興味関心が限局的で、常同的・固執的な行動をとり、他者とコミュニケーションを取るのが苦手です。原因は脳全体の機能の凹凸で、ミラーニューロンシステム(=相手のまねをするシステム)やアセチルコリン系(=人の気持ちを読むのに必要な脳内物質)の成長が遅いためとされています。ASDの人は、私たちとは感覚のとらえ方が違います。例えば、手先の器用さや柔軟な動きを必要とする歯みがきなどが苦手であり、感情のコントロールが苦手なため、日によってパニックになったりします。また、例えばコップの水などの自分にとって好きな刺激を無視すること、気持ちを切り替えること、変更が生じた時に調整することが苦手です。これを歯科に当てはめると、「今日は歯みがきだね」というつもりで来院したのに、流れの中でむし歯が見つかり治療になった、



というような場合は、うまく気持ちを変更できるように医療者側が上手に誘導してあげないとパニックの引き金になったりします。「いつもと違う」「予定と違う」ことに、私たちが想像する以上に不安や不快や恐怖を感じているようです。反対にASDの人は一度注目を向けた後、集中を持続させること、いつもと同じことをすること、一度学んだ正しい方法を継続すること

～パニックを起こさないために～



テレビ



おもちゃ



ひも

テレビ、おもちゃ、照明のひもなどは隠す

が得意です。この特徴を歯科に当てはめると、一度教えただけ正しい歯みがき、一度出来るようになった歯科治療やレントゲン撮影など、型にはめてあげると大変上手にできるようになる方もいます。またASDの人は、物を理解するのに、耳からのコミュニケーションよりも、目で見て理解する、つまり視覚的な情報の理解の方が得意です。診療室ではこの特性を活かして、その日の診療内容を絵カードを用いて示したりして、ASDの人が理解しやすいように手助けしています。

#### ～ASDの人の特徴～

##### 【苦手なこと】

- 手先の器用さや柔軟な動きを必要とすること
- 刺激を無視すること
- 気持ちを切り替えること
- 変更が生じた時に調整すること

##### 【得意なこと】

- 一度注目を向けた後集中を持続させること
- いつも同じことをすること
- **視覚的な情報の理解**

### 3. ASDのような発達障害のある人への支援方法と視覚支援

ASDの人は、先に述べたように**視覚的な情報の理解が得意なため、構造化と応用行動分析**を組み合わせた**視覚支援**(=言葉でのコミュニケーションよりも目で見て伝え合う支援方法のこと)を用いるアプローチが有効です。**構造化**とはTEACCHプログラム提唱の環境側をASDの人に適合させるアプローチのことで、具体的には、空間を個室などのエリアに分けたり、『いつ』『どこで』『何をするか』を表にしたスケジュールを提示したり、言葉ではなく**絵カード**で指示したり、自らの要求を絵カードで伝えたりします。



▲コミュニケーションツールとしての写真や絵カード

**応用行動分析**とは望ましい(良い)行動を増やし、望ましくない(良くない、困った)行動を減らすことを言います。望ましい行動を増やしたいときには、手助け

をして良い反応を引き出し、徐々に目標に接近し、がんばった後には結果としてごほうびを与えます。反対に望ましくない(困った)行動が起きた時にはその行動をよく分析し、次から事前に工夫して行動が起こらないようにすることが大切です。



▲スタンプカードとごほうび

### 4. 小畑歯科医院のスペシャルニーズに対する取り組み

当院にもASDの人や知的発達障害を持っている人々が多数来院されており、それぞれの人々に合わせたスペシャルニーズな対応が必要です。ASDの人を診療する際、空間を区切ること、その日の診療内容や立ち位置を視覚的に提示することが大切です。空間を区切る

とき、一番いいのは個室で、個室が混んでいるときはロールカーテンなどでパーテーションを作り、周りの刺激を遮断し、診療に集中しやすい環境を作ります。視覚からの理解がしやすい人には、コミュニケーションツールとして、絵カードを使用しますが、絵カードは多くても7枚程度とし、必ずいつ終わるかわかるようにします。絵カードだけでは伝わりにく



▲物理的構造化①：個室



▲物理的構造化②：ロールカーテン

い時は、**10カウントやタイマー、砂時計**を併用します。そのとき、**できるだけいつもと同じように伝える**ことが最も大切で、そうすることで大きなパニックを未然に防ぐことができます。また待つことがとても苦手な人が多いです。例えば予約時間より10分だけ後にお呼びしてもその10分間ASDの人にとってはいつもと違っても長い時間に感じて不安になってしまい、パニックを誘発する原因になってしまいます。当院ではできるだけお待たせしないように、またやむを得ずお待たせせざるを得ない場合はリラックスできる車などの



空間で待ってもらい、順番が来たら車まで呼びに行く等の工夫をしています。



## 5. お口の健康を守るための支援体制

スペシャルニーズのある人のお口の健康を守るためには、家庭・学校・施設・歯科医院の連携が大切です。

ASDなどの人は、手と目の対応、手先を器用に動かすこと、柔軟な動きなどが苦手のため、歯みがきも苦手なことが多いです。そのため、本人による歯みがきは、歯みがきを日常生活全体の生活デザインに組み込み、絵カードや写真などを用いて歯みがきをする意味を理解してもらい、ごほうびなどを用いて自発的な行動を強化



▲歯科衛生士手作りの歯みがきの手順を示した絵カード

して習慣化します。当院では、手作りの歯みがきの手順を示した絵カードを用いて具体的な歯みがきの方法をトレーニング時に指導するという支援を行っています。



▲23枚の絵カードをクリップで止めたもの：トレーニング時に使用

日常の介助みがきは、家庭・療育者・学校の先生・施設職員の方にお願ひし、それを歯科医療関係者がしっかりとフォローすることが大切です。当事者ぬきに、彼らのことを勝手に決めることがないように、彼らが幸せになれるように暖かく支援していきたいものです。（歯科医師・岡）



▲診療室における絵カードを用いた実際のトレーニング風景



歯科衛生士  
弓場 奈津実

はじめまして。3月に和歌山県歯科衛生士専門学校を卒業し、4月からお世話になっていきます歯科衛生士の弓場奈津実です。

学生時代は、歯科助手として小畑歯科で勉強させていただきました。

歯科衛生士となった今、助手のときとは違った専門的なより深い知識が必要で、毎日大変ですが、これも一人前の歯科衛生士になるために必要なことだと思うので、一生懸命頑張ります。

まだまだ半人前にもなれていない新人の卵ですが、患者のみなさまと一緒に口のお口の健康管理とOOL(生活の質)の向上に努めていきます。みなさまどうぞよろしくお願ひします。

# 「甘えさせる」 と 「甘やかす」

事務局 森下 愛子

前は、自己肯定感についてお話ししましたが、今回は「甘えさせる」「甘やかす」の違いについてお話ししたいと思います。

大勢の子どもと関わる中で、自ら甘えられる子どもとそれができない子どもがいました。上手に甘えられる子どもは自然と膝の上に座ってきたり、抱っこを求めたりしてきますが、逆に上手に甘えられない子どもは、本当はして欲しいことがうまく表現できず、その気持ちを押しつけてしまったり、違った形で構って欲しいことをアピールしたりします。

## 「甘えさせる」と「甘やかす」は違う!

では、子どもを「甘やかす」と「甘えさせる」の違いは何でしょうか。

「甘えさせる」とは、子どもの情緒的な要求を受け入れることで、「話を聞いて～」や「抱っこして～」など、子どもの要求を満たしてあげることが「甘えさせる」とい



うことです。

一方「甘やかす」とは、我慢しなくちゃいけないことを我慢させなかったり、子どもの物質的な要求（おもちゃやお菓子など）にをすぐに受け入れ、与えてしまうことで、過保護や過干渉などとも言われています。

## 「甘えさせる」主人公は「子ども」

## 「甘やかす」主人公は「子ども以外」

成長にはそれぞれ個人差がありますので、年齢はあまり気にしなくてもよいと思いますが、子どもが親に愛情を求めて甘えてくるときには、いつでも温かく受け入れてあげればよいと思います。上手に甘えられない子どもは、周りの大人や親がそれに気づき、『心』を読み取ってあげることが大切です。また、子どもが自立しようとしているときには、余計な手出しはせず、黙って見守ってあげることも大切です。

忙しい毎日の中、理想と現実はどうかもしれませんが、「甘えさせる」こと決して悪い事ではなく、子どもが成長し、自立していく中で必要不可欠なものです。時には『甘えデー』なんて、作ってみてはいかがですか？



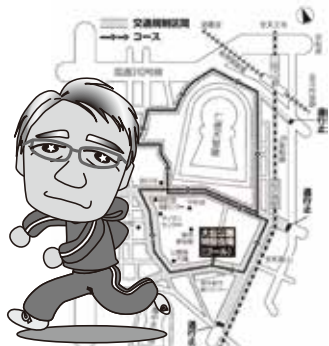
## STAFF NEWS

### 第37回堺シティマラソン、今年も気持ちよく走ってきました!

院長 小畑 文也

2016年4月29日、第37回堺シティマラソンに今年も参加してきた。

「歴史と文化と緑の仁徳天皇陵と大仙公園を走ろう!」をテーマに開催された堺シティマラソン。世界遺産の登録を目指す仁徳天皇陵と新緑の大仙公園を周回する10kmコースだ。強い日差しと30℃近い気温には要注意であるが、気になるほどのアップダウンもなく、初心者でも走りやすい。21年前



スイミング仲間を誘われて初参加。以来今年で8回目の参加だ。私のマラソン人生は毎年10月の和歌浦JAZZマラソンから始まり、紀美野町ふれあいマラソン、岩出シティマラソン、口熊野マラソン、そして締めの大仙公園マラソンと続く。全部は参加できないが、堺シティマラソンはここ数年皆勤賞だ。

昨年は蒸し暑く、コース上で何人もランナーが倒れていた。今年は日差しが強いが湿度が低く、じっとしていると肌寒い。走るのにはちょうど良い。好タイムが期待出来そう。最後尾付近からスタートして、徐々に順位を上げていき、調子が良ければ最終の2kmでラストスパートだ。スタートラインに向かいながらゴールまでのイメージを考えていた。

結果は62分27秒。天候に恵まれたのに、ラストスパートは全然できず。昨年より少しタイムが縮んだだけ。ここ数年間でベストタイムだ。練習不足と加齢と考えれば納得。サア、次は夏山だ。